



| | |
|--------------|---|
| Title | 募集 大阪大学大型計算機センターニュース 第90号 (Vol.23 No.2, No.3合併号) |
| Author(s) | |
| Citation | 大阪大学大型計算機センターニュース. 1993, 90, p. 49-50 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/66034 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

平成5年度研究開発計画の公募について

本センターでは、ソフトウェアサービスの一層の充実を図るため、下記の要領で広く利用者の方々から、センターの計算機システムの利用に関して利用者の役に立つソフトウェア、システムの運用に役立つソフトウェアなどの研究開発計画を公募しています。

応募いただきました研究開発計画については、応募のあった日以降の最初の研究開発委員会において審査の上、採否を通知します。同委員会は、原則として隔月（4月、6月、9月、11月、1月）毎に開催されます。

採択されました課題に対しては、計算機利用負担金の一定額が免除されます。

なお、開発されたプログラム、データベースは、本センターに登録され、原則として公開されます。

申請にあたっては、以下の応募要領をご覧のうえ、著作権法にご留意くださるようお願いいたします。

応 募 要 領

1. 研究開発計画の対象
 - (1)基礎及び応用プログラム開発に関するもの
 - (2)計算機言語に関するもの
 - (3)計算機利用に関するもの（各種のユーティリティ・プログラム作成など）
 - (4)プログラム・ライブラリの書き換え、改良及び精度、信頼性の検定
 - (5)データベースの応用・利用支援プログラムの開発に関するもの
 - (6)計算結果の可視化に関するもの
 - (7)学術文献データベースの構築に関するもの
 - (8)各種ファクトデータベース（数値、図形、画像データベース等）の構築に関するもの
2. 応募資格 本センター利用有資格者
3. 申請書の請求先 大阪大学大型計算機センター 共同利用掛
申請書は1の項目により異なります。
(1)～(6)ライブラリ・プログラム開発計画申請書
(7)～(8)データベース開発計画申請書
4. 申請書の提出先 大阪大学大型計算機センター 共同利用掛
(TEL 06-877-5111 内線2815)
5. 申請書の受付期間 応募は年間を通じて受け付けます。
6. 研究開発の期間 原則として当該年度末までとします。
複数年度にまたがる場合は、各年度毎にあらためて継続申請をお願いします。
7. 研究開発計画の経費 研究開発に要する計算機の利用負担金の一定額を免除します。
8. 研究開発者の義務 開発終了時には、開発したプログラム、データベースの提出及び利用手引書の執筆をお願いします。
なお、利用手引書はセンターニュースに掲載します。
9. 著作権 開発されたプログラム、データベースの著作権は、原則として開発者のものとします。
開発者は、学術雑誌等への発表や公開を自己の責任において行うことができます。
詳細については、センター内規（プログラム・ライブラリ、データベース）をご参照ください。

（研究開発部、共同利用掛）

平成5年度ライブラリ・プログラム開発申請課題一覧

| 開発申請者 | 所 属 | 開 発 課 題 |
|-------|----------------------|--|
| 高木達也 | 大阪大学遺伝情報実験施設 講 師 | 分子科学用プログラムの開発・移植及び改良 |
| 木村紀之 | 大阪大学工学部 助 手 | EMTP(Electro Magnetic Transient Program) の入出力プログラムの開発 |
| 富田佳宏 | 神戸大学工学部 教 授 | ポリマー材の大変形有限要素法解析プログラムの 開発 |
| 黒澤 努 | 大阪大学医学部 助教授 | 医用画像の3次元立体構築 |
| 那須三郎 | 大阪大学基礎工学部 助教授 | イジング系におけるラフニング現象の変分法を用 いた研究：ステップ感受率の解析 |
| 福田優子 | 大阪大学核融合研究センター 教務員 | SX-3を利用したビジュアル化の研究 |
| 酒井勝弘 | 埼玉工業大学工学部 助教授 | ソース項を有する輸送方程式の解析を局所的に満 足する有限差分法の開発II |
| 渋谷陽二 | 大阪大学工学部 助 手 | 分子動力学法による原子構造変化解明のためのア ニメーション・システムの開発 |